キャラクター名
オリビア・ホワイト

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ウロボロス	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	JK
オプショナル		年齢	16	性別	女
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	36 %
出自	03 天涯孤独	経験	01 UGNへの忠誠	邂逅	87 秘密

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	2	0	1			3
精神	4	1	0			5
社会	0	0	1			1

HP	29
行動値	9
(非装備時)	11
戦闘移動	16
全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	14	5	交渉		
回避	1		知覚			意志	1	5	調達	1	
運転：			芸術：			知識：レネゲイド	6		情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：ギャンブル	3		情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
使徒の衣		9	-1	-2	過常効果:あなたが行う意志、<RC>判定の達成値に常に+2する。強化効果:あなたが行う意志、<RC>判定の達成値にさらに+3する。

合計装甲：	9	合計回避：	-1

所持品	
コイン	
コネ:UGN幹部	
コネ:要人への貸し	
ウェポンケース	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
申し子	P	N		
リチャード・ホワイト	P 連帯感	N 嫌気		
アルフレッド・J・コードウェル	P 好奇心	N 無関心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
原初の虚:サイレンの魔女	7	7	メジャー	視界	シーン（選択）	RC（対決）	120	
効果： 「攻撃力:+[LV*3]」の射撃攻撃を行う。装甲無視。《CR》を組み合わせることはできない。								
リミットブレイク	3	4	メジャー	-	-	効果参照	Dロイス	
効果： 「制限:n%」のエフェクトを、n%未満でも組み合わせられる。シナリオLV回。								
道化の出し物	★	1						
効果：								
シャドウダイバー	1	2						
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

<PC設定:概略>
・いたいけのない赤髪JK。『人生は一度きり、いつ死ぬかも分からないなら楽しんだものが人生の勝者』が座右の銘の享楽主義者。
　性格はよく言えば明朗で快活、悪く言えば軽々しすぎ真面目に見えない。楽しい事に時間と金を惜しまず、度々生活に困窮している。
　ただ、UGNの理念や己で課した制約を厳守し、一度として訓練・任務をサボったことがない。

・ウロボロスシンドロームを生まれつき持っている本来あり得るはずのないオーヴァード。それ故に幼少期は研究所内に隔離されてきた。
　そんな中で、アルフレッド・J・コードウェルと面会した際に様々なことを教わり、外の世界への憧れを吐露したことで、検体ではなくチルドレンとして受け入れられ、現在までの師匠であり養父であるリチャード・ホワイトと引き合わされる。

・他人とは友好的で明るい様子を常に見せている彼女であるが、実のところ心を開いている人間は殆どいない。自分の本来の力、境遇、悩み、願いや望みなどといった本懐を、彼女自身のことを話すことはなく、聞かれたとしてもはぐらかすのが常である。

<PC設定:詳細>脳内にある設定を書くだけ。決定ではない。
　現在までの彼女の能力に関する研究は禁じられ、その能力に関する詳細は一定の権限を持つUGN関係者以外には完全に伏せられている。

　彼女の能力はウロボロスシンドロームの模倣能力の究極系と言って差し支えない。既存のウロボロスシンドロームのようにレネゲイドを捕食しコピーするのではなく、他者の能力を映像などを含めて一度見ただけで完全に模倣し操ることができる。
　また、それらを組み合わせて未知の能力を作り出すこと、その出力・特性を限界以上に引き出すことも造作ではなく、制約もない。
　その能力は人の身ではあまりにも強力であり、彼女が全力で出せば敵はおろか味方、彼女自身さえもただでは済まない。
　加えて、彼女は彼女の肉体・レネゲイド自身の限界の超越を容易く可能にできる力を有している。彼女は彼女の意志一つで理性のブレーキを破壊することができるのだ。
　彼女は、未曾有のレネゲイド災害を引き起こす危険性を常に有している、と言っても過言ではない。